

平和の森公園再整備基本計画（素案）からの主な変更点

※ページは基本計画(案)のページ

ページ	項目	変更点
1 ページ	I 上位計画での位置づけ	新しい中野をつくる 10 か年計画（第 3 次）（案）の記述を追加。
	III 平和の森公園再整備の基本的な考え方	防災機能の向上において、区対策本部の代替施設機能としても整備する。
	IV 平和の森公園再整備の具体的な方向性	多目的広場の拡張にあたっては、スポーツ規格を踏まえた規模とし、照明設備の設置や、人工芝とする。
		トラック競技にも利用できる園路は、安全な運用を図るとともに、照明設備を充実する。
		整備にあたって、樹木の整理を行う場合には、可能な範囲での移植を行う。
V 整備のスケジュール	トラック競技に活用する場合であっても、占用エリア以外に自由に遊べるスペースを設ける。	
2 ページ	多目的広場	素案では両翼 75m、中堅 90mであったが、両翼 80m、中堅 85mに変更し、人工芝、照明設備の設置を追加する。変更によって面積は約 6,600 m ² が約 6,500 m ² となる。
	広場、園路	照明設備を充実する。
	その他	トイレの改修、犬の広場の再整備を行う。
3 ページ	II 新体育館の基本的な考え方	防災機能の向上において、区対策本部の代替施設機能として活用する。
	III 新体育館の具体的な方向性	素案では卓球場としていたが、多目的室（卓球場）とし、面積を約 250 m ² とし、大会時には控室とするなど多目的室として活用する。
		武道場は、素案では 3 面としていたが、2 面に変更する。
		武道場に隣接して多目的室を設置し、大会等の運営会議や、控室、軽体操など多目的に利用できるようにする。

4 ページ	所要諸室一覧	メインアリーナ、サブアリーナなど、新体育館各室の機能を追記した。
		新体育館の共用スペース・設備に救護室、多目的室、会議室を追加する。
	建物概要	体育館の規模は、素案では地下1階、地上2階、10,000 m ² 程度であったが、地下1階、地上3階、延べ面積11,000 m ² 程度に変更する。
		建物イメージ図を所要諸室の考え方により具体化し、平面・断面図のイメージを掲載した。